

介護老人保健施設 老健ホームいしかわ

きらめき



希望をもって生きる ―ウイルスと人類の歴史から―

新型コロナウイルスのため、当施設でもご家族と入所者の面会制限も3年目となり、この間職員もマスク、手洗いや換気など毎日懸命の感染対策を続けています。ウイルスや細菌の感染症は、長い間狩猟生活をしていた人類が動物を家畜化することによって始まったと考えられている。すなわち、もともとは牛の天然痘や麻疹が、豚のインフルエンザや百日咳がたまたまヒトに感染し、進化(遺伝子変異)によってウイルスが動物から人間へと宿主を変えて、ヒト集団で流行するようになった。人類の歴史から考えると、ウイルス感染症はそんなに古いものではなく、最初に登場したのはエジプトのミイラの天然痘の痕跡から紀元前1600年頃と推定されている。人類史上最悪の集団感染症は、1918年頃に大流行したインフルエンザで全世界で二千万(三千万とも)人が命を落とした。その後、インフルエンザのワクチンや治療薬もでき、毎年冬期に流行するものの、人類にとってそれほど大きな脅威ではない。COVID-19ウイルスは発生してまだ3年であり、既に多くの人は新型コロナワクチンを接種しており、重症化を防ぐ経口薬も開発されてきている。歴史的に天然痘やインフルエンザがたどった経緯を考えれば、新型コロナもインフルエンザと同じような社会環境になると予想されるのである。2021年10月には前回コロナ禍で中止された金沢マラソンが開催された。これまでの大会はいつも雨だったが、第7回大会は晴れの天候であったのも明るいニュースであった。雨の日が続くことがないように「明けない夜はない」のであり、必ず人類がコロナウイルスを制御して、早晚平常の社会生活に戻ることを期待したい。

施設長 吉本 谷博



老健のリハビリをご紹介します

老健ホームいしかわでは熱心に関わり取り組む入所者様の姿があります。「家に帰るために歩けるようになりたい」「自分でトイレに行けるようになりたい」「認知症が進行しないか心配」入所者様それぞれの目標や不安に向けてリハビリメニューを作成し、理学・作業療法士がマンツーマンで指導しております。また、習字や塗り絵などを通し、他の入所者様とのコミュニケーションの場としても活用されています。今回はその様子をご覧いただきたいと思います。



回想法

懐かしいものや映像を見て思い出を語り合うことは、脳が活性化し情緒を安定させ、認知症の進行予防の可能性があるとされています。

園芸療法

植物との関わりを通して心の癒しを受けると同時に、作業では座る・耕す・掘る・水を撒くなどの動作で運動能力の維持増進に繋がります。



太鼓の音色を堪能しました

新型コロナウイルス感染予防の観点から、依然行事を減少せざるを得ない状況になっておりますが、昨年は感染予防に十分な配慮を図り、大場潟乃太鼓の皆様にお越しいただきました。

中庭で太鼓演奏をされている様子を入所者様は館内から鑑賞しましたが、太鼓の音色は心に響く大変な迫力で、涙ぐまれる入所者様のお姿も見られました。



祝 長寿 いっまでも 長生きしてくださいね

市から長寿のお祝いに来られました。左の入所者様は100歳、右の入所者様は105歳のお祝いのご様子です。おめでとうございます！



お誕生日御膳 はじめました



当月に誕生日を迎えた入所者様全員に献立メニューのリクエストをお聞きし、月に1度昼食時に「お誕生日御膳」としてお出ししています。入所者様からはちんちやいなりなどお寿司の人気の高いですが、2月は海鮮丼とみそラーメンでした。他の入所者様も同じ献立となるため、毎月の楽しみとなっております。



お米の寄付を いただきました

大智株式会社様よりお米1,440 kgの寄付をいただきました。

大変おいしくいただきました。本当にありがとうございました。

